

クリンテートシリーズ「調光ライト」 の効果確認試験

JA今金町

山本 智明



①H29.6.29 コーティング5+1(慣行品)



②H29.6.29 調光(試験品)



③H29.8.23 コーティング5+1(慣行品)



④H29.8.23 調光ライト(試験品)



⑤H29.8.23 コーティング5+1(慣行品)



⑥H29.8.23 調光ライト(試験品)

試験目的

クリンテートシリーズ「調光ライト」の効果確認試験

試験作物 及び品種

ミニトマト

試験資材 及び数量(規格)

調光ライト(0.1mm×840cm×55m)

慣行資材

コーティング5+1

栽培方法

播種定植日

6月7日

収穫日

8月13日

【栽植密度】
畝幅：40cm
株間：35cm

資材使用期間

5月下旬～11月上旬

試験区面積

5,000㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

展張作業は慣行品と同様、問題なく行えた。

作業員の体感的に試験品の方が若干涼しく感じた。

ただし(天候の影響もあるが)、期待したほどの調光効果による差は感じられなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行品・試験品ともに上段の方で花とびがあったものの、試験品の方が玉揃いが良く、色つきも良かったため、生育が早いという印象を感じた。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：生育が早くなること。調光の効果で高温時に涼しく感じること。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

特になし。

(5)促成・抑制効果について

試験品の方が樹の勢いを抑えることができた。

(6)保温効果について

巡回時の6/29 14:00 気温23.2℃、8/23 13:00 気温26.7℃では、いずれもフィルムが白くなって調光の効果を確認できた。

このように高温時にはフィルムの色が白くなり、体感的には若干涼しく感じたが、温度抑制効果については大きな差は見られなかった。

(温度データ アメダスより出典)

(7)雑草・病害虫の発生について

特になし。

モニター感想

ハウスのフィルムは約4～5年使用するが、価格について通常品の2倍以上となると検討が難しくなる。

試験品は、生育や作業環境について優位性を感じられたため、0.1mm厚品のように価格差がなくなっていけば、今後の使用について検討したい。

また、2年目以降の調光の性能についても、引き続き経過観察行いたい。

JA担当者の感想(生産資材課 尊保係長)

試験品について、高温の年であればより大きな差が見られると思う。

しかし、通常フィルムとの価格差が大きいので、普及拡大を図るために通常品の価格に近くなるよう取り進めてほしい。

今後の使用について

継続して使用したい。

性能については普及性を感じる。

将来希望する資材について

より安価な農業用ハウスフィルム。

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 調光フィルム

4 クリントム

5 クリントム

6 マルチ

7 不織布

8 育苗資材

9 略農資材

10 その他